

## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年7月12日

上場会社名 株式会社スーパーツール 上場取引所 大  
 コード番号 5990 URL <http://www.supertool.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉川 明  
 (役職名) 専務取締役 (氏名) 篠畑 雅光 (TEL) 072(236)5521  
 問合せ先責任者 管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成24年7月30日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年3月16日～平成24年6月15日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,369	26.1	143	9.7	105	59.0	52	45.2
24年3月期第1四半期	1,086	—	130	—	66	—	36	—

(注) 1. 包括利益 25年3月期第1四半期 32百万円 (△47.6%) 24年3月期第1四半期 61百万円 (—%)  
 2. 前連結会計年度より連結財務諸表を作成しているため、平成24年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	6.65	—
24年3月期第1四半期	4.58	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	8,731	5,343	61.2
24年3月期	9,362	5,370	57.2

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 5,343百万円 24年3月期 5,355百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	6.00	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年3月16日～平成25年3月15日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,900	11.1	370	34.3	320	85.5	180	94.3	22.78
通期	6,300	30.6	800	66.5	700	94.2	400	106.2	50.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
 新規 — 社（社名） — 、除外 — 社（社名） —

（注）1. 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の移動の有無となります。

2. 前連結会計年度において、連結子会社であった世派機械工具貿易（上海）有限公司については、事業活動を終了し、清算手続を開始したことに伴い重要性がなくなったため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	8,245,480株	24年3月期	8,245,480株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	346,060株	24年3月期	345,080株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	7,899,747株	24年3月期1Q	7,900,660株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社グループが現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興など内需関連産業などにおいて緩やかに持ち直しに向かいつつある一方、欧州の政府債務問題や海外景気の下振れの影響に加え、円高水準の定着や電力供給の制約など多くの懸念材料により、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、価値の創造をテーマとして引き続き新製品開発に注力するとともに、社内外との連携による生産体制の効率化を推進し、また積極的な提案活動を展開するため、営業部門を強化いたしました。

一方、環境関連事業につきましては、企業などによる発電事業への参入の本格化をひかえ、発電シミュレーションなどきめ細かい受注活動を継続しましたが、新制度や発電コストなどの諸要件が未定であることから活発な受注には繋がりませんでした。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,369百万円（前年同四半期比283百万円増、26.1%増）、営業利益は143百万円（前年同四半期比12百万円増、9.7%増）、経常利益は105百万円（前年同四半期比39百万円増、59.0%増）、四半期純利益は52百万円（前年同四半期比16百万円増、45.2%増）となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は次の通りであります。

なお、各セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

#### （金属製品事業）

作業工具類は、国内販売では復興需要もあり売上は好調に推移しましたが、産業用機器は、受注タイミングの関係からほぼ前年同四半期並みとなりました。これらの結果、当セグメントの売上高は1,183百万円（前年同四半期比100百万円増、9.3%増）、セグメント利益は240百万円（前年同四半期比23百万円増、10.8%増）となりました。

#### （環境関連事業）

環境関連事業におきましては、再生可能エネルギー固定価格買い取り制度の開始による事業化意欲の高まりはあるものの、産業用、メガソーラーの導入については模様眺めの状況が続きました。これらの結果、当セグメントの売上高は182百万円（前年同四半期は売上実績はございません。）、セグメント損失13百万円（前年同四半期比0百万円減、2.1%減）となりました。

#### （その他）

当セグメントは、不動産賃貸事業の業績を表示しております。

当セグメントの売上高は2百万円（前年同四半期と同額）、セグメント利益は1百万円（前年同四半期比0百万円増、10.0%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### （資産）

当第1四半期連結会計期間末の総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ631百万円（6.7%）減少し、8,731百万円となりました。

主な増減は、現金及び預金の減少477百万円、前渡金の減少126百万円、投資有価証券の減少29百万円、原材料及び貯蔵品の増加33百万円等であります。

#### （負債）

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ604百万円（15.1%）減少し、3,388百万円となりました。

主な増減は、短期借入金の減少170百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少160百万円、未払法人税等の減少113百万円、長期借入金の減少209百万円等であります。

#### （純資産）

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ27百万円（0.5%）減少し、5,343百万円となりました。

主な増減は、第1四半期純利益の計上52百万円、配当金の支払47百万円、その他有価証券評価差額金の減少17百万円、少数株主持分の減少14百万円等であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年4月25日付「平成24年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3月15日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年 6月15日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,442,986	965,402
受取手形及び売掛金	573,915	596,593
商品及び製品	1,155,319	1,139,626
仕掛品	531,365	540,068
原材料及び貯蔵品	197,300	231,280
前渡金	131,178	4,977
繰延税金資産	52,798	30,236
その他	15,751	11,418
貸倒引当金	△4,638	△4,794
流動資産合計	4,095,976	3,514,809
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	316,090	322,055
機械装置及び運搬具（純額）	201,764	188,844
土地	4,171,371	4,171,371
その他（純額）	67,256	64,618
有形固定資産合計	4,756,483	4,746,889
無形固定資産	11,150	10,753
投資その他の資産		
投資有価証券	379,848	350,445
繰延税金資産	65,003	76,529
その他	67,842	45,336
貸倒引当金	△13,353	△13,354
投資その他の資産合計	499,340	458,956
固定資産合計	5,266,974	5,216,598
資産合計	9,362,951	8,731,407
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	327,680	352,298
短期借入金	610,000	440,000
1年内返済予定の長期借入金	495,946	335,018
未払金	196,632	255,460
未払法人税等	148,982	35,613
賞与引当金	43,200	9,900
その他	24,411	20,332
流動負債合計	1,846,852	1,448,623
固定負債		
長期借入金	773,906	564,111
再評価に係る繰延税金負債	1,190,288	1,190,288
退職給付引当金	106,181	109,959
その他	75,099	75,099
固定負債合計	2,145,474	1,939,457
負債合計	3,992,327	3,388,081

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月15日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月15日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,463,274	1,463,274
資本剰余金	342,076	342,076
利益剰余金	1,773,019	1,776,360
自己株式	△79,259	△79,529
株主資本合計	3,499,110	3,502,180
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,972	15,648
土地再評価差額金	1,825,497	1,825,497
為替換算調整勘定	△1,810	—
その他の包括利益累計額合計	1,856,659	1,841,145
少数株主持分	14,853	—
純資産合計	5,370,624	5,343,326
負債純資産合計	9,362,951	8,731,407

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月16日 至平成23年6月15日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月16日 至平成24年6月15日)
売上高	1,086,000	1,369,195
売上原価	711,701	957,230
売上総利益	374,298	411,965
販売費及び一般管理費	243,600	268,595
営業利益	130,698	143,370
営業外収益		
受取利息	1,433	135
受取配当金	1,013	1,246
その他	642	458
営業外収益合計	3,089	1,841
営業外費用		
支払利息	6,752	5,257
売上割引	16,705	20,129
為替差損	39,030	8,768
その他	4,950	5,541
営業外費用合計	67,439	39,696
経常利益	66,348	105,514
特別損失		
固定資産除売却損	—	264
特別損失合計	—	264
税金等調整前四半期純利益	66,348	105,249
法人税、住民税及び事業税	21,803	35,022
法人税等調整額	11,306	20,680
法人税等合計	33,109	55,702
少数株主損益調整前四半期純利益	33,238	49,547
少数株主損失(△)	△2,946	△3,002
四半期純利益	36,185	52,549



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月16日 至平成23年6月15日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月16日 至平成24年6月15日)
少数株主損益調整前四半期純利益	33,238	49,547
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	28,989	△17,324
為替換算調整勘定	△728	—
その他の包括利益合計	28,261	△17,324
四半期包括利益	61,500	32,222
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	64,447	35,225
少数株主に係る四半期包括利益	△2,946	△3,002

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成23年3月16日 至 平成23年6月15日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	金属製品 事業	環境関連 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,083,120	—	1,083,120	2,880	1,086,000
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,083,120	—	1,083,120	2,880	1,086,000
セグメント利益（△損失）	216,894	△13,677	203,217	1,183	204,400

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	203,217
「その他」の区分の利益	1,183
セグメント間取引消去	2,615
全社費用（注）	△76,317
四半期連結損益計算書の営業利益	130,698

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年3月16日 至 平成24年6月15日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金属製品 事業	環境関連 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,183,326	182,989	1,366,315	2,880	1,369,195	—	1,369,195
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,183,326	182,989	1,366,315	2,880	1,369,195	—	1,369,195
セグメント利益又は損失（△）	240,267	△13,393	226,873	1,301	228,175	△84,805	143,370

（注） 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失（△）の調整額△84,805千円には、セグメント間取引消去718千円、及び各報告セグメントに配分していない全社費用△85,524千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（6）重要な後発事象

該当事項はありません。